

六連絡施設状況

飛行場内無線通信網ハ僅カニ一ヶ所切断セラレタルニ  
ニテ良好ニ確保セラレタリ

2. 切断箇所ハ爆風(彈痕ハ五〇発ニシテ距離五米)ニヨルニ  
ノニシテ修復迄ニ〇分ヲ要マリ 本修復作業ノ  
遅延マルハ敵機跳跡ニ依リ行動ニ制肘ヲ受ケタルニ依ル

七 彼我損害概数  
ノ 戦果

撃墜 確實 一(五五ヘルキマツト)

2 損害

(1) 人員死傷ナシ

(2) 射撃彈 二〇式或光自爆榴彈藥筒 二二〇發

2 同 代用彈 三四發

3. 三八式小銃實包 二二五發

(3) 其他兵器器材糧秣物品被服損耗ナシ

(4) 飛行場被彈状況附圖第二如シ

八 戰訓其他將來參考トナルベキ事項

一 敵機(アベンチャー)三機ハ高度ニ〇〇米―二五〇米各機間  
隔五〇米ヲ以テ本攻撃間三回(〇六四五、二一〇、二七三〇)ニ  
亘リ飛行場直上ヲ東ヨリ西、更ニ旋回後北ヨリ南へ飛行  
セルハ寫眞撮影ヲ實施シタルモノ、如ク將來ハ注意  
要アリ又所偵察機ノ用法ヲ考慮シ要アリ

二 敵ハ降下時ト雖モ我ヨリ先制射撃ヲ加フル時ハ大ナル動作  
ヲナシテ退避スル事例ニ、三アリテ射撃ノ好目標ヲ呈  
示セリ 適確ナル初彈發射時機ノ着破ノ必要性ノ一  
理由トモ謂ヘ得ベシ

三 雲上ヨリ急降下攻撃スル目標ニ對シテハ先頭機ノ行動ニ  
進隨スルオトナク砲連同一方向待機シニ番機以下ヲ阻止ス  
ル要アリ 二番機以下ハ殆ト一番機ト同一高度同降下  
角度ニテ攻撃シ末止ヲ以テナリ

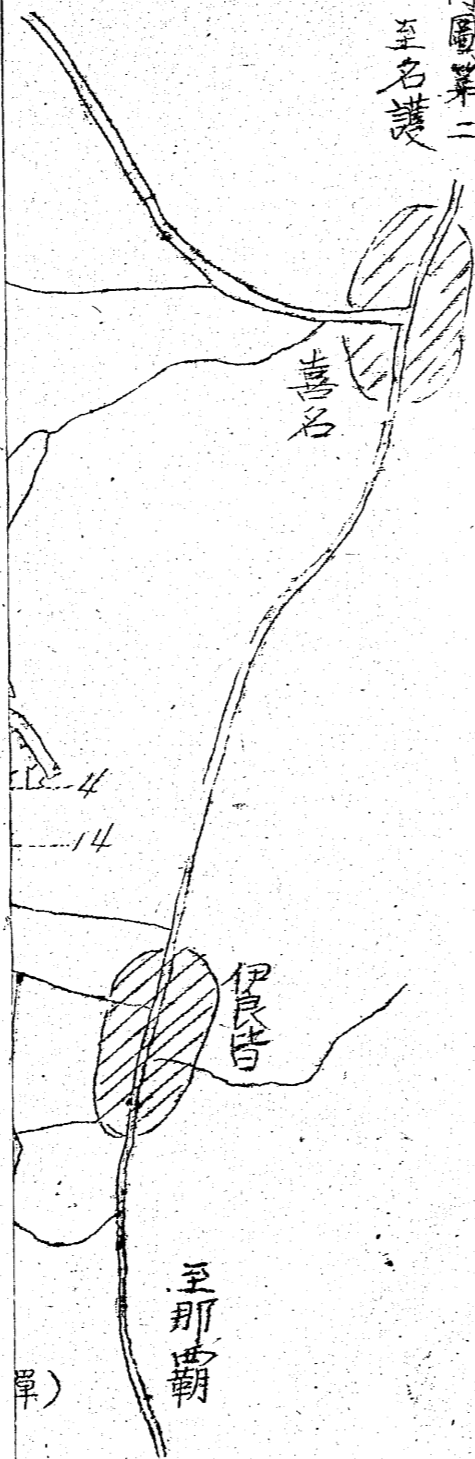
四 飛行場週邊ニフロラム罐等多數配置シ水ヲ充滿マシメ  
置ク要アリ 對化ニテハ人員消毒用トシテ強痕補修ニ  
際シテハ輾壓ノ爲メ撤水用トシテ使用容易ナクナリ

五 雲中一高度一〇〇米ヲ飛行スル飛行機ノ眞位置ハ狀況  
ニ依リ異ナルニ通常爆音聴取方向ヨリ約三〇度前才ニ  
在ルモノ如シ、敵機發見一端緒タルベシ

9840

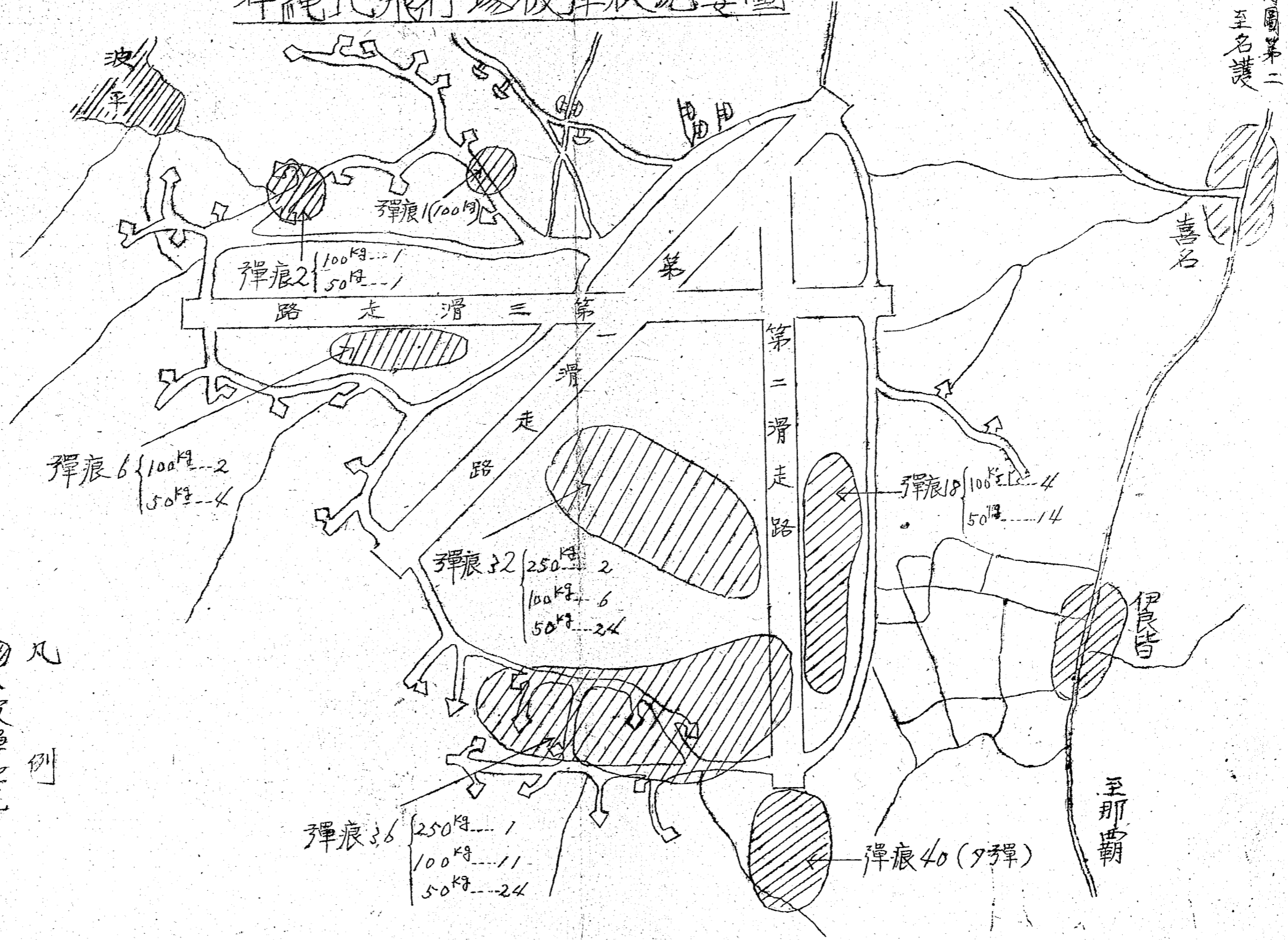
ヲ爲飛行機、効果大ナルモノアリ 今次未襲ニ際シ爲  
飛行機ヲ、集團的ニ配置シ、アリアルニ爆彈六八發  
機関砲彈多量ヲ吸收シ、アリタリ

附圖第二  
至名護



# 沖繩北飛行場被彈狀況要圖

附圖第二  
至名護



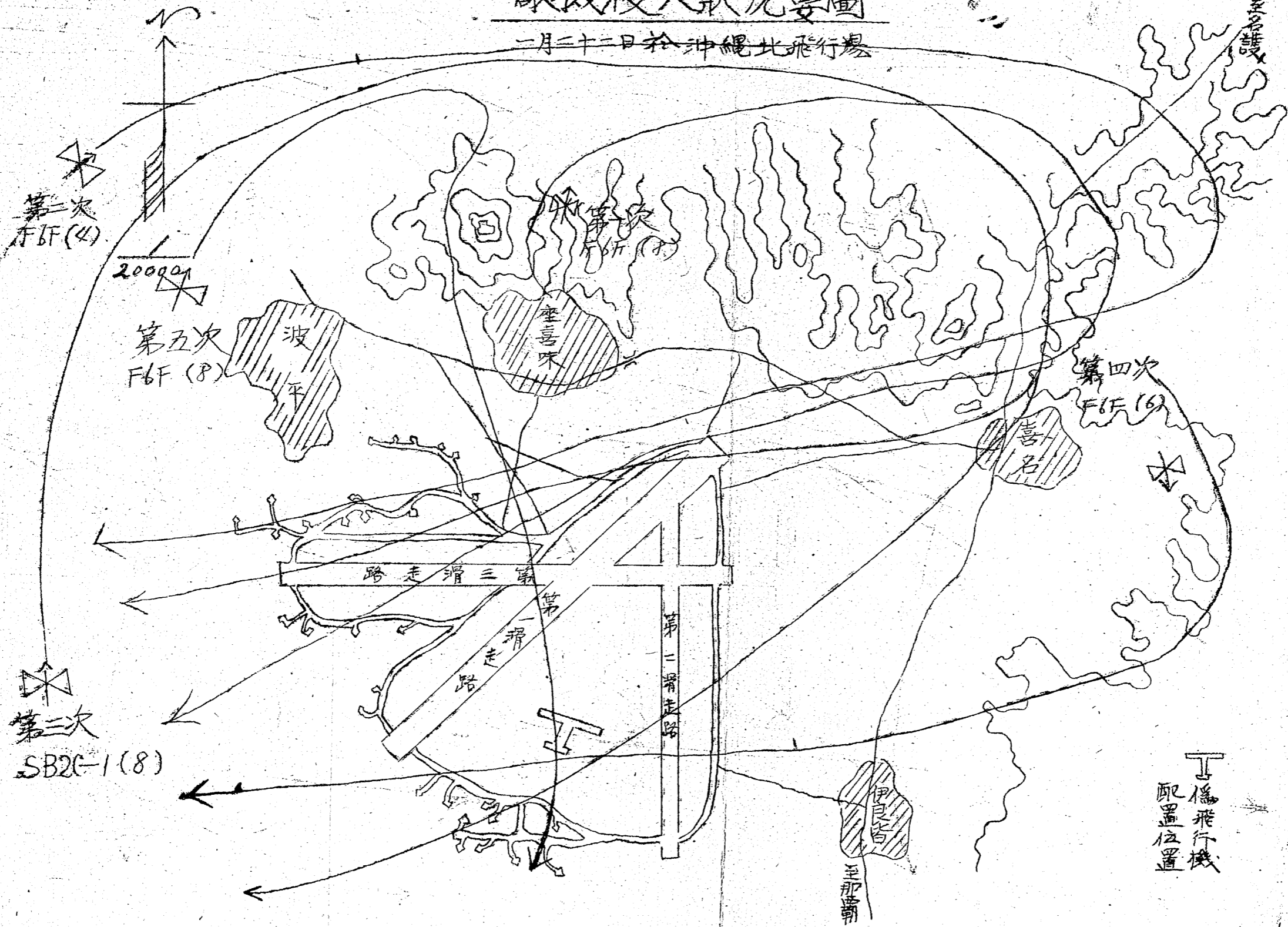
凡  
 被彈地  
 飛行機掩体  
 同特掩体

8820

# 敵機侵入狀況要圖

二月二十二日於沖繩北飛行場

附圖第一



6820

豫	功	陣	第	第	配
備	績	中	九	三	區
		日	航	十	分
		誌	空	二	
			軍	軍	部
			部		數
二	二	三	一	二	

